

募集内容・出願方法について

募集人員	20名程度
開催期間	令和8年5月－令和8年10月予定（全48コマ 72時間） 原則毎週水曜日 18:00～21:00に開講予定
開催場所	山梨大学 医学部キャンパス 融合研究臨床応用推進センター 他
受講料	無料（ただし、講義及び実習等に係る費用として実費（事業主負担）を申し受ける場合があります。）
出願資格	次の各号のいずれかに該当する方 (1)やまなし地域活性化雇用創造プロジェクトへ参加し、現在、医療機器分野で活動している、又は今後、医療機器分野への参入を目指す企業に勤務し、所属長の推薦が得られる方 (2)工学系大学、又は高専卒業程度の工学系基礎知識、設計・生産等の実務経験があり、県内の医療機器産業へ就職を目指す県内の未就職の方 (3)医療機器分野において、技術、経営面等で県内製造業との連携や支援を行う企業・団体等に勤務し、所属長の推薦が得られる方
	(1)出願書類に必要事項をご記入の上、下記の提出先に郵送又はメールにて提出してください。 ※出願書類は募集要項の他、講座ホームページからもダウンロード可能です。 (2)出願締切：令和8年4月6日(月)必着
認定講習	本講座は『山梨県医療機器総括製造販売責任者及び責任技術者に対する認定講習』として認定されました。 当講座を受講した者で認定講習の条件に該当し(学歴等要件有)、かつ一定の基準を満たした受講生は医療機器製造販売業・医療機器製造業に必要な総括製造販売責任者・責任技術者の資格要件を満たすことができます。

詳細は募集要項又はホームページをご確認ください。

医療機器産業技術人材養成講座 🔍

<https://www.yamanashi-iryokouza.com>



お問い合わせ先（出願書類提出先）

国立大学法人 山梨大学 融合研究臨床応用推進センター事務室内

医療機器産業技術人材養成講座担当

〒409-3898 中央市下河東1110番地

電話：055-273-1266

FAX：055-273-1262

E-mail : cacr-tr@yamanashi.ac.jp

受付時間：平日(月～金)8時30分～17時15分

ただし、年末年始(12/29～1/3)を除く

令和8年度

山梨大学

医療機器産業技術人材養成講座 (やまなし地域活性化雇用創造プロジェクト)



本事業の募集は、山梨県の令和8年度予算成立後、速やかに事業を開始できるようにするため、予算成立前に募集の手続を行うものです。本事業の実施は、令和8年度予算の成立が前提であり、今後、内容等が変更・中止になることもありますので、あらかじめご了承ください。

やまなし地域活性化雇用創造プロジェクトにおける 医療機器産業技術人材養成講座

『医療機器産業技術人材養成講座』とは

医療機器産業は、国内の市場規模が約4兆円と大きく、高齢化などによる新たなニーズが生まれ、市場規模が拡大していくことが予想されます。また、この分野は精密な加工を要するものも多く、本県のものづくり企業が培ってきた高い技術力の活用が期待できる有力な産業分野です。

そこで、県内を中心とした産業界の社会人技術者等を対象に、医療機器に必要な技術・知識等を習得する機会を提供することで、県内中小企業等が医療機器技術者の育成や新規雇用創出に取り組みやすい環境を整備し、県内中小企業等の雇用増加、雇用環境改善及び安定的で良質な雇用を創造することを目的として「医療機器産業技術人材養成講座」を開設します。

なお、本講座は、やまなし地域活性化雇用創造プロジェクトの一環として、山梨大学が山梨県から受託して実施するものです。

○ 講座修了者には、「山梨大学医療機器設計開発士」の称号を授与します。

「やまなし地域活性化雇用創造プロジェクト」

良質で安定的な正社員雇用の確保及び職場への定着を図るため、県内企業の働き方改革や生産性向上の取り組みを支援するとともに、求職者に対する就業支援等を行うプロジェクトです。

講座内容（予定）

講義・実習	
法律・試験	医薬品医療機器等法概論
	医療機器関連法令概論
	非臨床試験概論
	臨床試験概論
	安全対策概論
医学	医学講座(各診療科)
	医療機器体験実習
	医療シミュレーター体験実習
工学	医療機器工学概論
施設見学等	試験施設見学
	医療機器展示会見学

修了生の声

弊社の技術が医療機器関連分野で使えるのではないかと可能性を探るため受講しました。
医療の知識を深めその社会性、開発案件、開発後のブラッシュアップ・危機管理方法など多くの事を学びました。

講座では多分野の医師の方々からお話を伺えたこと、高度な手術装置の操作体験や申請書の作成方法などの実践演習が今後に役立つと思います。

医療機器分野未経験の私には講座内容の復習が必須ですが大変有意義な時間となりました。

J株式会社 O 様

本講座では、薬機法を中心に医療機器の許認可申請制度や品質管理、市販後安全管理、関連法規、安全対策など、医療機器のライフサイクル全体を体系的に学ぶことができます。

また様々な診療科の医師やPMDA、医療機器メーカーで勤務されていた先生方から、実務に基づいた講義を受けられる非常に貴重な機会でもあります。

更に、展示会や試験施設の見学、グループでのニーズ探索、医療機器の提案・試作、申請書類作成を体験し、より広く深く理解を深めることができました。

他では得られない内容が盛りだくさんの講義のため、興味のある方はぜひ参加してみてください。

T株式会社 I 様

講義の中で、各領域の医師による基礎講座を通じて普段の生産活動では学べない医療現場の実情を聞くことが出来ます。

また医療機器やシミュレーターを体験できる機会もあり、どのような視点で製品が開発・製造されているのかを見聞きしながら体感でき、大変有意義でした。法令概論についても体系的に学ぶことができ、ものづくりと法規制のつながりを改めて認識する良い機会となりました。

後半のグループ実習では、学んだ知識を踏まえながら医療機器開発の一連の流れを体験することで理解を一層深めることができました。

医療機器産業に携わっている、または今後携わりたいと考えている企業の方に、ぜひ受講をお勧めしたい講座だと思います。

株式会社グッドマン K 様

部品製造業の観点からは、高度な技術、高い安全性、厳しい法規制...と高めのハードルに意識が向きがちな医療機器ですが、本講座では、ユーザーである医療従事者や患者の目線での医療機器を学び、考えることができました。

市場情報から各種法規制まで幅広く体系的な講義、各領域の先生方による医学講座、医療機器シミュレーター等の体験学習、多様なメンバーと共に取り組む機器製作～申請の模擬実習、いずれも得がたい機会であり、視野を広げ、洞察を深めるのにとっても有意義な講座でした。

シチズン電子株式会社 K 様

医学部キャンパス

医学部の医師等による講義のほか、医療機器体験実習や医療シミュレーター体験実習等を実施しています。
医療機器の基礎知識から医療機器等の開発において理解しておくべき薬事規制(定義・クラス分類)や品質管理等、医療機器産業への参入に役立つプログラムを用意しております。



受講の様子



医療シミュレーター体験実習



医療機器体験実習